二級水系
流域治水プロジェクト

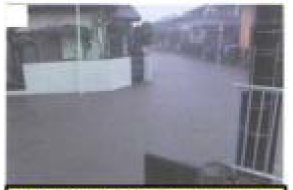
海老川水系 流域治水プロジェクト【位置図】

～ 東京湾北部圏域の中小河川の流域治水を推進 ～

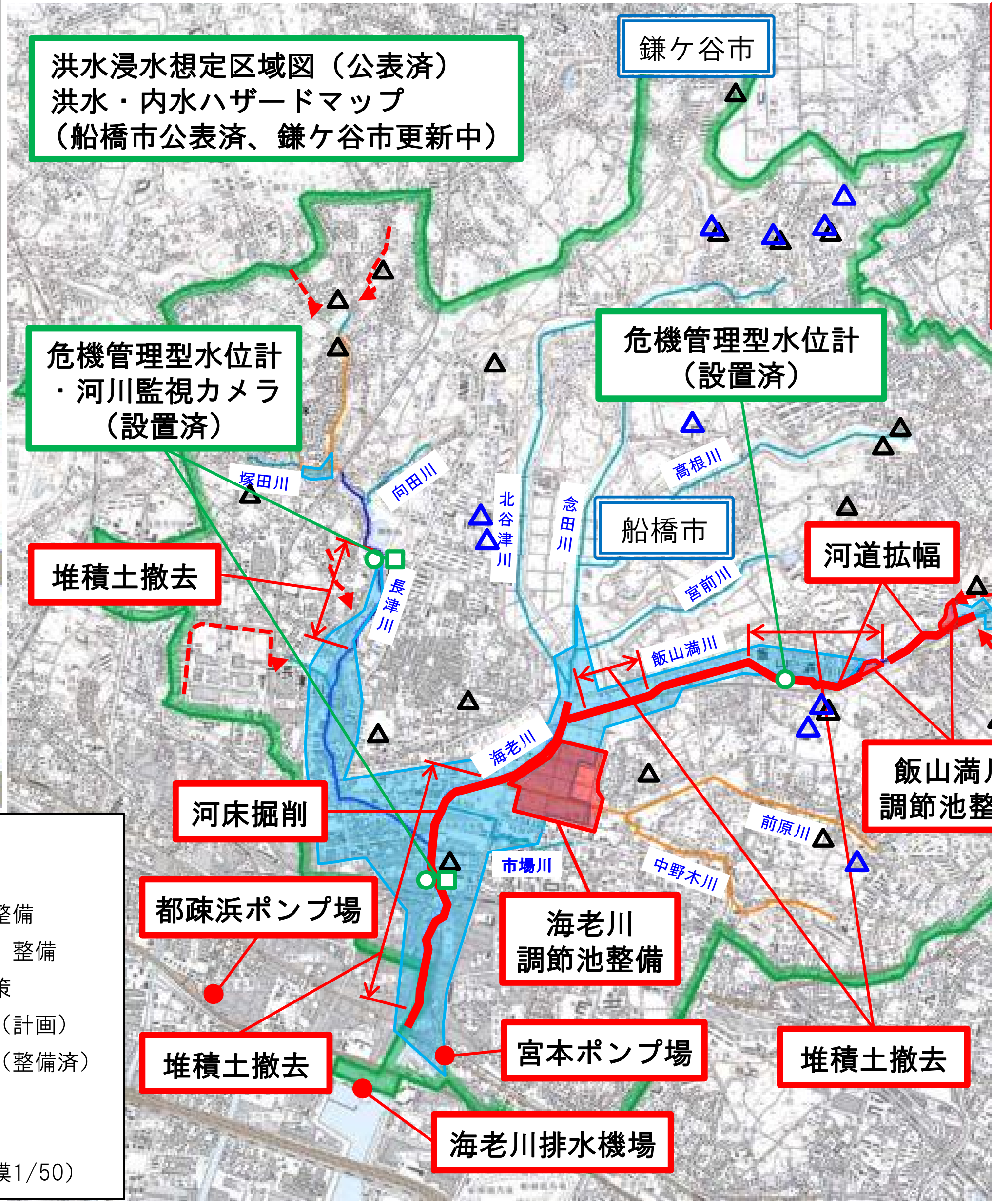
千葉県

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、海老川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10程度（時間雨量約50mm）の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

【昭和61年】北本町1丁目付近浸水状況



【平成25年】芝山1丁目付近浸水状況



【凡 例】
- 流域界
- 河川改修・調節池整備
- 公共下水道（雨水）整備
- 排水機場老朽化対策
- 雨水貯留浸透施設（計画）
- 雨水貯留浸透施設（整備済）
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 浸水想定（計画規模1/50）

海老川調節池（整備中）

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河道拡幅、河床掘削、調節池整備
- 堆積土撤去、河川護岸等の老朽化対策
- 学校の校庭等を活用したオンサイト貯留
- 排水機場の老朽化対策
- 公共下水道（雨水）の整備
- 雨水貯留浸透施設等の設置
- 自然地の保全等、透水性舗装

■被害対象を減少させるための対策
- 立地適正化計画の策定・運用
  【策定必要性の再検討実施】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 洪水浸水想定区域図（公表済）
- 危機管理型水位計、河川監視カメラ
- 水害対応タイムラインの活用
- マイ・タイムラインの普及啓発
- 避難確保計画策定に向けた周知を行い、随時支援を実施
- 学校や各町会、自治会等の求めに応じ、講話等を実施
- 洪水・内水ハザードマップ
  （船橋市公表済、鎌ケ谷市更新中）
- 防災ハンドブックの作成、配布
- 窓口にて浸水履歴を公開

海老川排水機場の老朽化対策

二級水系
流域治水プロジェクト

海老川水系 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 東京湾北部圏域の中小河川の流域治水を推進 ～

千葉県

● 海老川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　期】河川における対策として、土地区画整理事業に合わせて飯山満川の河道拡幅を推進するとともに、海老川調節池の本格施工に着手する。また、海老川、飯山満川、長津川等においては堆積土撤去を実施する。

【中　期】飯山満川の上流区間について河道拡幅を推進するとともに、海老川調節池については貯留効果を早期に発現するため、段階的な暫定供用を目指す。また、必要に応じて、堆積土撤去を実施する。

【中長期】引き続き、飯山満川の河道拡幅、海老川調節池の整備、海老川の河床掘削等を推進し、海老川水系全体の整備完了を目指す。

● あわせて、流域の市街化率が８割を超えている状況を踏まえ、都市浸水対策の強化（排水機場の老朽化対策、公共下水道の整備等）および雨水流出抑制対策（雨水貯留浸透施設等の設置）を実施するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程 短期	工程 中期	工程 中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、河床掘削、調節池整備	千葉県	飯山満川の河道拡幅、海老川調節池の整備、海老川の河床掘削等		
	堆積土撤去	千葉県、船橋市	3河川等で実施	定期的に実施予定	
	河川護岸等の老朽化対策	千葉県、船橋市	継続して実施		
	学校の校庭等を活用したオンサイト貯留	船橋市	市立小学校、中学校等の14箇所で実施		
	排水機場の老朽化対策	千葉県、船橋市	海老川排水機場、都疎浜ポンプ場、宮本ポンプ場等で実施		
	公共下水道（雨水）の整備	船橋市	暫定運用		本格運用
	雨水貯留浸透施設等の設置、自然地の保全等、透水性舗装	関係市	継続して実施		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定・運用	船橋市	再検討実施	検討結果を踏まえて策定・運用	
	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定	定期的に更新予定	
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市	継続して実施		
	マイ・タイムラインの普及啓発、避難確保計画策定に向けた周知・支援、講話等	船橋市	継続して実施		
	防災ハンドブックの配布、浸水履歴公開	船橋市	継続して実施		

【事業費（R3以降の残事業費）】
■河川対策
　全体事業費　248.4億円
　河道拡幅、調節池整備等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

二級水系
流域治水プロジェクト

都川水系 流域治水プロジェクト【位置図】

～ 東京湾北部圏域の中小河川の流域治水を推進 ～

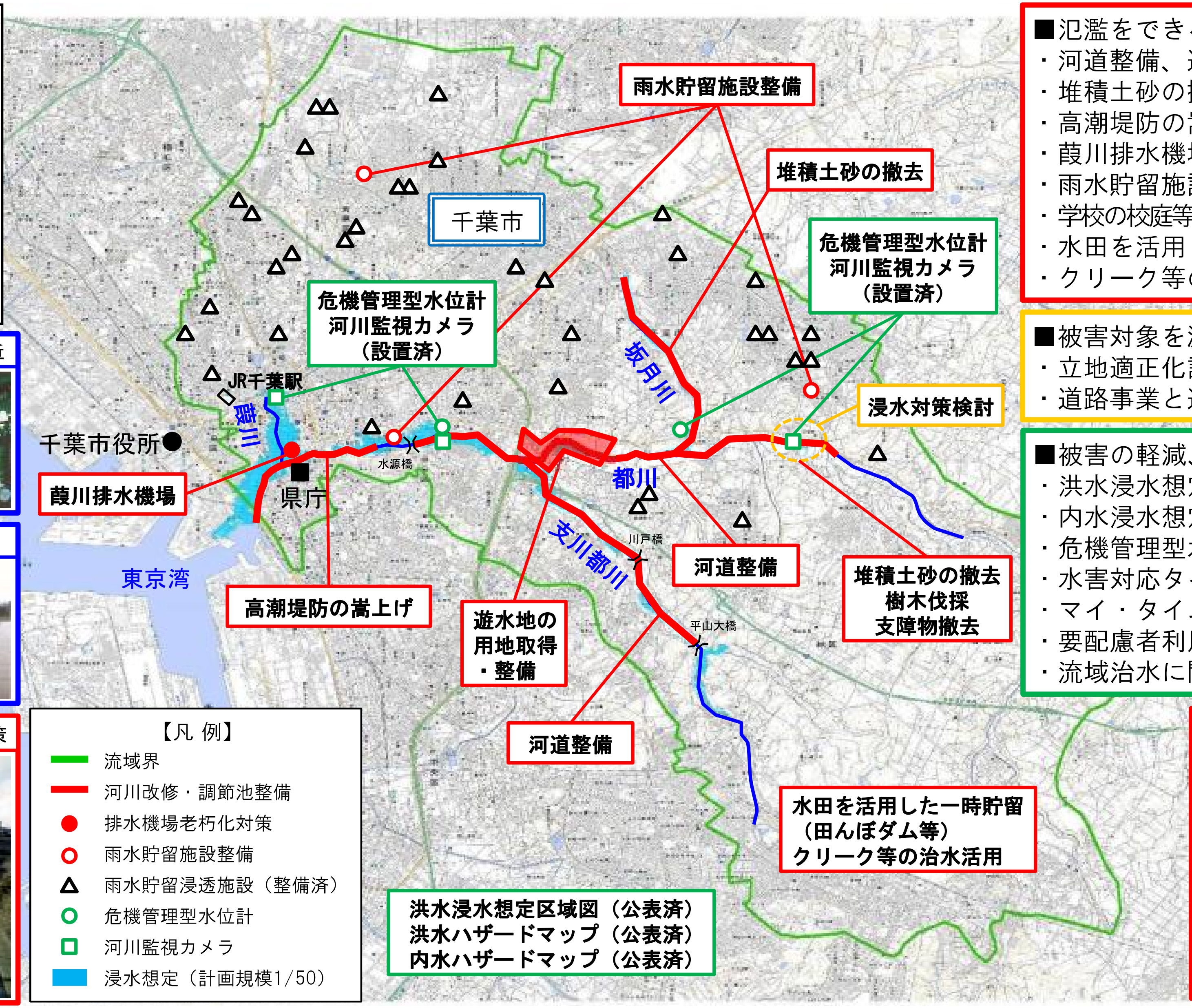
千葉県

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、都川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10程度（ただし、都川の河口から坂月川合流点は1/50程度）の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

【平成3年】千葉中央駅付近

【平成8年】大草橋付近

葭川排水機場の老朽化対策



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河道整備、遊水地の用地取得・整備
- 堆積土砂の撤去、樹木伐採、支障物撤去
- 高潮堤防の嵩上げ
- 葭川排水機場の老朽化対策
- 雨水貯留施設整備
- 学校の校庭等を活用したオンサイト貯留（整備済）
- 水田を活用した一時貯留（田んぼダム等）
- クリーク等の治水活用

■被害対象を減少させるための対策
- 立地適正化計画の改定（防災指針を記載）
- 道路事業と連携した浸水対策検討

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 洪水浸水想定区域図、洪水ハザードマップ
- 内水浸水想定区域図、内水ハザードマップ
- 危機管理型水位計、河川監視カメラ
- 水害対応タイムラインの活用
- マイ・タイムラインの作成支援
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援
- 流域治水に関する啓発・教育

都川多目的遊水地の用地取得・整備

二級水系
流域治水プロジェクト

都川水系 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 東京湾北部圏域の中小河川の流域治水を推進 ～

千葉県

● 都川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　期】河川における対策として、都川（支川都川下流）、支川都川（川戸橋下流）の河道整備を推進するとともに、都川や坂月川の堆積土砂の撤去等を実施する。また、下水道における対策として、雨水貯留施設整備を推進する。

【中　期】都川河口部の高潮堤防嵩上げ、都川（支川都川～坂月川合流点）及び支川都川（川戸橋～平山大橋）の河道整備を進める。

【中長期】引き続き、都川上流部に向けて河道整備を進め、整備計画区間の完了を目指す。また、葭川排水機場の老朽化対策を計画的に実施していく。

● あわせて、水田を活用した一時貯留（田んぼダム等）やクリーク等の治水活用を推進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程 短期	工程 中期	工程 中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道整備、遊水地の用地取得・整備	千葉県・千葉市	～支川都川・～川戸橋	～坂月川・～平山大橋	坂月川～
	堆砂土砂の撤去、樹木伐採、支障物撤去	千葉県・千葉市	大草橋付近・坂月川	定期的に実施予定	定期的に実施予定
	高潮堤防の嵩上げ	千葉県	河口～水源橋下流	河口～水源橋下流	河口～水源橋下流
	葭川排水機場の老朽化対策	千葉県	長寿命化計画に基づき計画的に実施	長寿命化計画に基づき計画的に実施	長寿命化計画に基づき計画的に実施
	雨水貯留施設整備	千葉市	整備予定		
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム等)	集落活動組織等	千葉県と千葉市が実施主体に対し取組拡大を促進	千葉県と千葉市が実施主体に対し取組拡大を促進	千葉県と千葉市が実施主体に対し取組拡大を促進
	クリーク等の治水活用	施設管理者等	千葉県と千葉市が実施主体に対し取組拡大を促進	千葉県と千葉市が実施主体に対し取組拡大を促進	千葉県と千葉市が実施主体に対し取組拡大を促進
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の改定(防災指針を記載)	千葉市	改定・運用	定期的に見直して運用	定期的に見直して運用
	道路事業と連携した浸水対策検討	千葉県・千葉市	検討・準備・整備予定	検討・準備・整備予定	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県・千葉市	増設予定	定期的に更新予定	定期的に更新予定
	水害対応タイムラインの活用	千葉県・千葉市	継続して実施	継続して実施	継続して実施
	マイ・タイムラインの作成支援	千葉県・千葉市	継続して実施	継続して実施	継続して実施
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援	千葉市	継続して実施	継続して実施	継続して実施
	流域治水に関する啓発・教育	千葉県・千葉市	継続して実施	継続して実施	継続して実施

【事業費(R3以降の残事業費)】
■河川対策
全体事業費　106億円
河道整備、高潮対策等
■下水道対策
全体事業費　25億円
雨水貯留施設整備

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

二級水系
流域治水プロジェクト

南白亀川水系 流域治水プロジェクト【位置図】

～ 九十九里圏域の中小河川の流域治水を推進 ～

千葉県

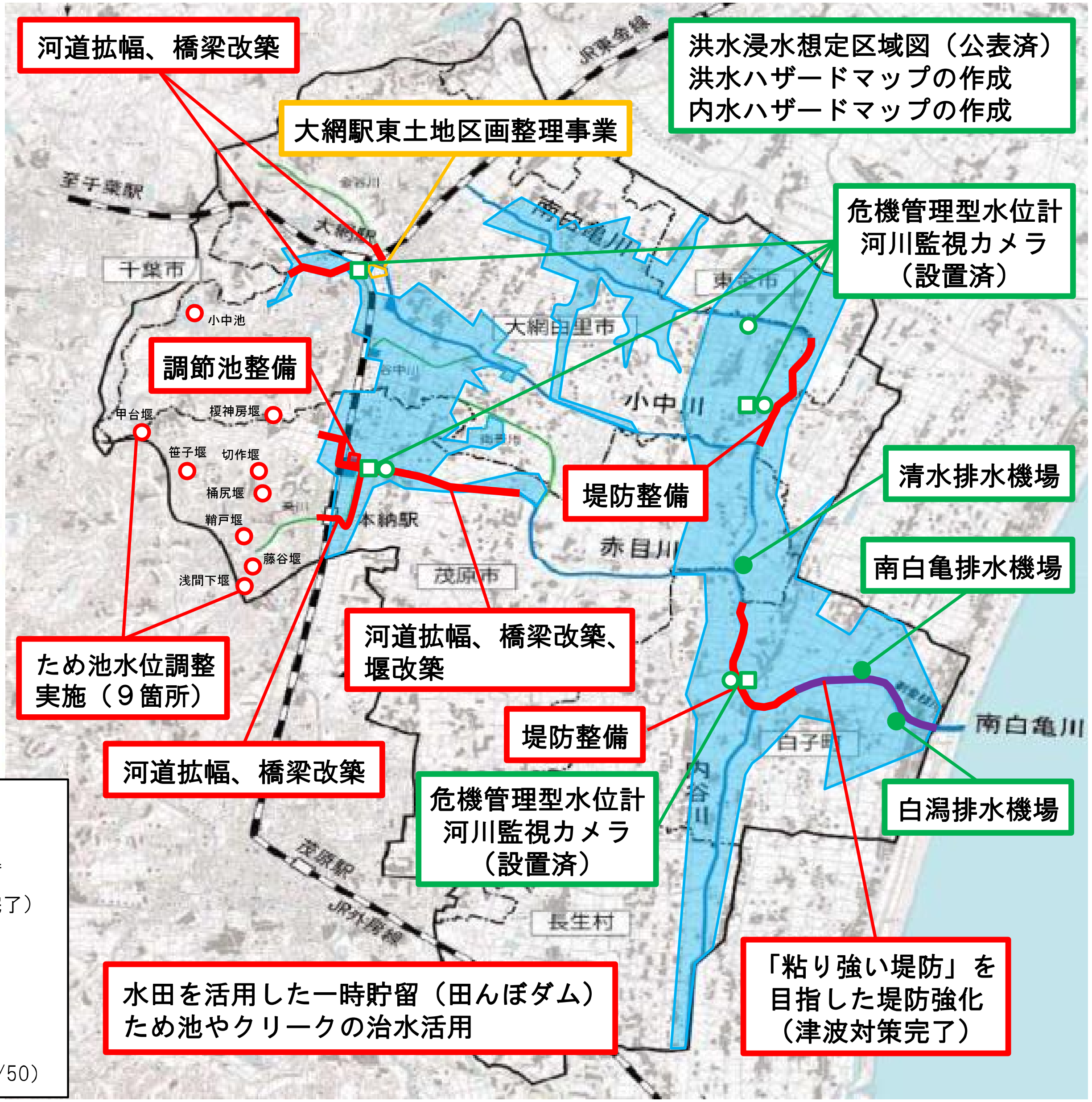
○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、南白亀川水系においてハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、平成8年9月台風第17号と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

【平成8年】JR線路の冠水状況

【平成25年】河川からの氾濫状況

【凡 例】

- 流域界
- 河川改修・調節池整備
- 堤防強化（津波対策完了）
- ため池水位調整実施
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 排水門等の整備
- 浸水想定（計画規模1/50）



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河道拡幅、堤防整備、橋梁改築、堰改築
- 調節池整備
- 樹木伐採、堆積土撤去
- 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化（津波対策完了）
- 水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
- ため池やクリークの治水活用
- 農業用用排水施設の活用
- 住宅等における各戸貯留
- 建築確認申請時の浸透桝設置のお願い
- 開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導

■被害対象を減少させるための対策
- 立地適正化計画の策定支援
- 土地区画整理事業に合わせた宅地嵩上げ
- 耐水化建築の啓発（ポスター）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 洪水浸水想定区域図（公表済）
- 危機管理型水位計、河川監視カメラ
- 水害対応タイムラインの活用
- マイ・タイムラインの作成支援
- 洪水ハザードマップの作成（想定最大規模に更新）
- 内水ハザードマップの作成
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
- 事業継続計画（BCP）の策定
- 不動産取引時の水害リスク情報提供
- 排水門等の整備（排水機場の耐水化）

河道拡幅（赤目川）

田んぼダム【白子町】

二級水系
流域治水プロジェクト

南白亀川水系 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 九十九里圏域の中小河川の流域治水を推進 ～

千葉県

● 南白亀川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　期】河川における対策として、赤目川では上流域の調節池整備、中流域の河道拡幅等を推進するとともに、他の河川では計画的に河川改修を実施する。また、県管理の二級河川において、樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。

【中　期】南白亀川及び金谷川では早期完成に向けて河川改修を推進し、赤目川、小中川及び乗川では計画的に河川改修を実施する。

【中長期】引き続き、赤目川、小中川及び乗川で河川改修を推進し、南白亀川水系全体の整備完了を目指す。

● あわせて、農地が多くを占める流域内の土地利用状況を踏まえ、雨水を一時的に貯留する田んぼダムやため池等の治水活用を促進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、堤防整備、橋梁改築、堰改築、調節池整備	千葉県、茂原市、大網白里市	南白亀川、赤目川、小中川、乗川、金谷川等の河川改修を実施		
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	二級河川で実施	定期的に実施予定	
	水田を活用した一時貯留（田んぼダム）	集落活動組織等	千葉県と関係市町村が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と関係市町村が実施主体に対し取組拡大を促進		
	農業用用排水施設の活用	千葉県、施設管理者	継続して実施		
	住宅等の各戸貯留、建築確認申請時の浸透桝設置のお願い	茂原市	継続して実施		
	開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導	関係市町村	継続して実施		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
	土地区画整理事業に合わせた宅地嵩上げ	大網白里市	事業完了		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定	定期的に更新予定	
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市町村	継続して実施		
	マイ・タイムラインの作成支援	関係市町村	継続して実施		
	内水ハザードマップの作成	茂原市、長生村	作成		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	東金市、大網白里市	継続して実施		
	事業継続計画（BCP）の策定	東金市、大網白里市	随時見直しながら実施		
	不動産取引時の水害リスク情報提供	大網白里市	継続して実施		
	排水門等の整備（排水機場の耐水化）	千葉県	排水機場1箇所完了	排水機場2箇所完了	

【事業費（R3以降の残事業費）】
■河川対策
全体事業費　87.1億円
河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

二級水系
流域治水プロジェクト

作田川水系 流域治水プロジェクト【位置図】

～ 九十九里圏域の中小河川の流域治水を推進 ～

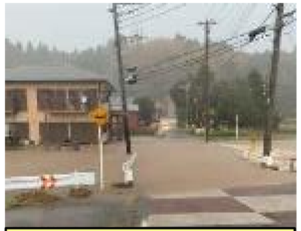
千葉県

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、作田川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河道拡幅、橋梁改築、河道掘削
- 樹木伐採、堆積土撤去
- 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化（津波対策完了）
- 水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
- ため池やクリークの治水活用

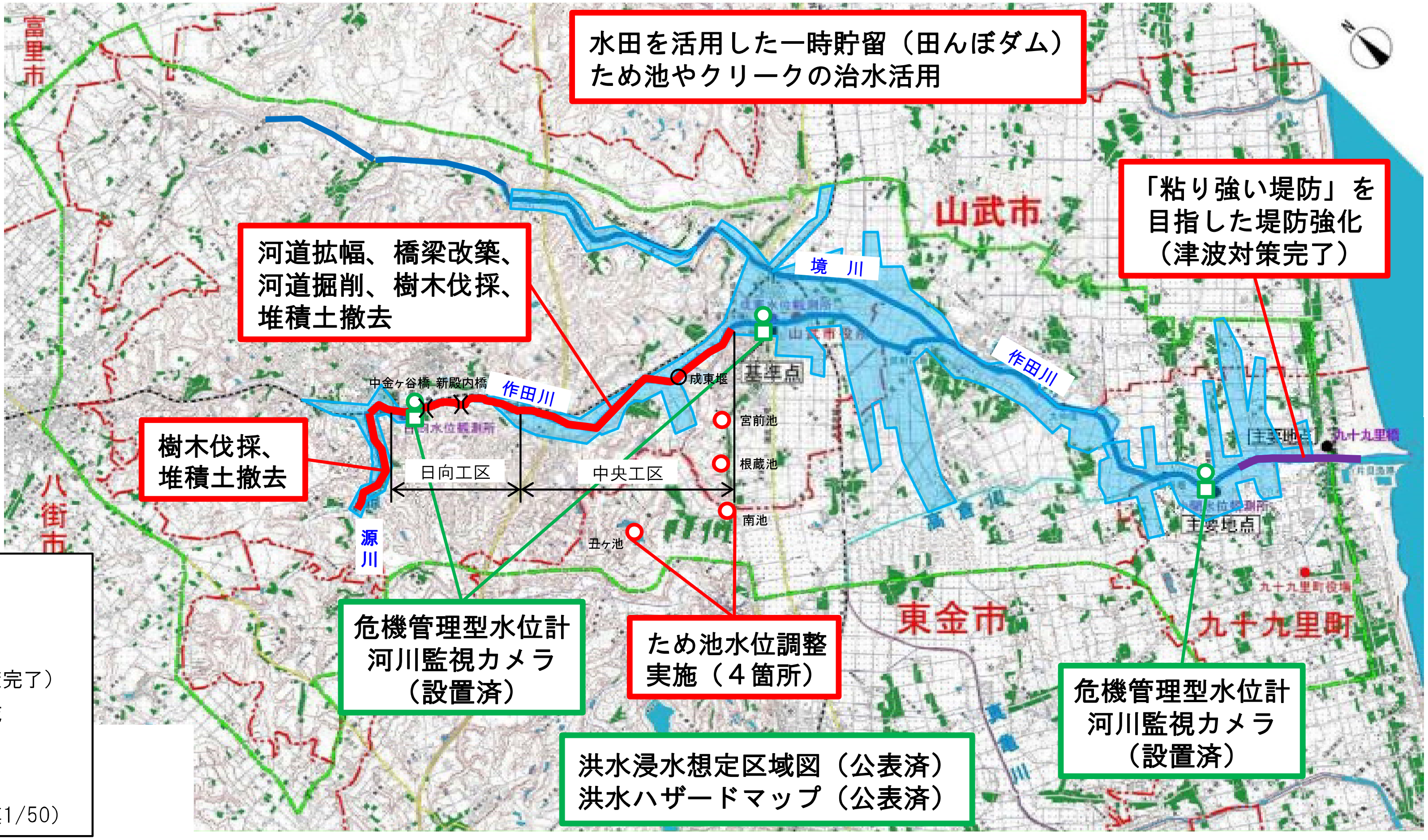
■被害対象を減少させるための対策
- 立地適正化計画の策定支援

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 洪水浸水想定区域図（公表済）
- 危機管理型水位計、河川監視カメラ
- 水害対応タイムラインの活用
- マイ・タイムラインの作成支援
- 洪水ハザードマップ（公表済）
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
- 事業継続計画（BCP）の策定
- 防災講話の実施
- 防災士協会の設立と活動支援



【令和元年】山武市椎崎付近浸水状況

【令和元年】山武市矢部付近浸水状況



【凡 例】
- 流域界
- 河川改修
- 堤防強化（津波対策完了）
- ため池水位調整実施
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 浸水想定（計画規模1/50）

河道拡幅（成東堰周辺）

樹木伐採、堆積土撤去（新殿内橋～中金ヶ谷橋）

防災講話実施【山武市】

二級水系
流域治水プロジェクト

作田川水系 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 九十九里圏域の中小河川の流域治水を推進 ～

千葉県

- 作田川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
  【短　期】河川における対策として、作田川の成東堰周辺で河川切回し及び河道拡幅等を推進するとともに、新殿内橋から中金ヶ谷橋までの区間で樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。また、源川では、樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。
  【中　期】作田川の中央工区の早期完成に向けて、河道拡幅及び橋梁改築等を推進する。
  【中長期】引き続き、作田川の日向工区の未整備区間（中金ヶ谷橋から上流区間）等で河道拡幅及び橋梁改築等を推進し、作田川指定区間の全川整備完了を目指す。
- あわせて、農地が多くを占める流域内の土地利用状況を踏まえ、雨水を一時的に貯留する田んぼダムやため池等の治水活用を促進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、橋梁改築、河道掘削	千葉県	成東堰周辺完了	作田川指定区間の全川整備完了	
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	作田川、源川	定期的に実施予定	
	水田を活用した一時貯留（田んぼダム）	集落活動組織等	千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定	定期的に更新予定	
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市町	継続して実施		
	マイ・タイムラインの作成支援	東金市	継続して実施		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	東金市、山武市	継続して実施		
	事業継続計画（BCP）の策定	東金市、山武市	随時見直しながら実施		
	防災講話の実施	山武市	継続して実施		
	防災士協会の設立と活動支援	山武市	継続して実施		

【事業費（R3以降の残事業費）】
■河川対策
　全体事業費　36.9億円
　河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

二級水系
流域治水プロジェクト

椎津川水系 流域治水プロジェクト【位置図】

～ 東京湾南部圏域の中小河川の流域治水を推進 ～

千葉県

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、椎津川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、河口～JR内房線下流区間において年超過確率1/50規模、岡田橋～不入斗川合流点区間において年超過確率1/10規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

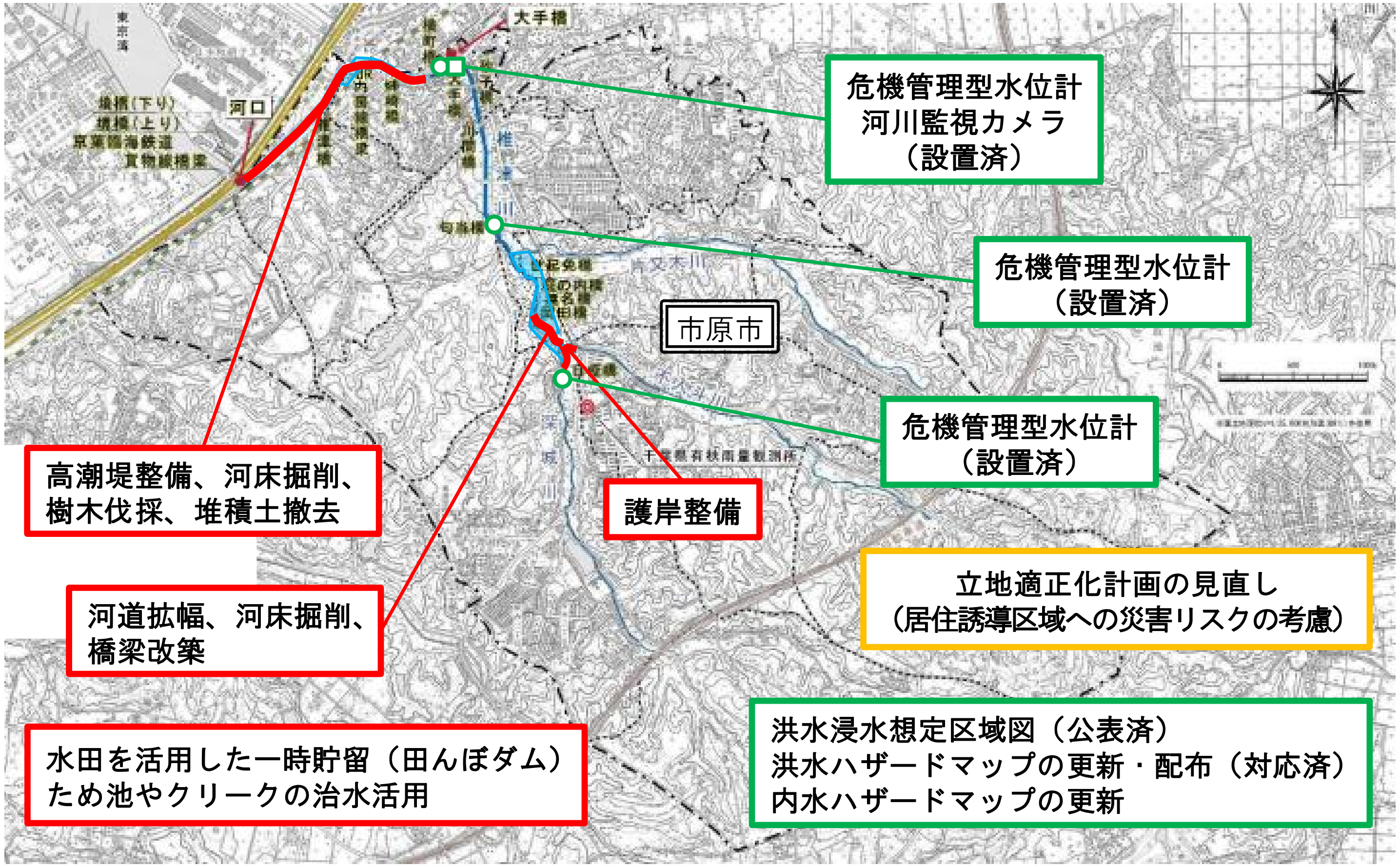
■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
・河道拡幅、河床掘削、橋梁改築
・高潮堤整備
・樹木伐採、堆積土撤去
・護岸整備
・水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
・ため池やクリークの治水活用

■被害対象を減少させるための対策
・立地適正化計画の見直し
（居住誘導区域への災害リスクの考慮）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
・洪水浸水想定区域図（公表済）
・危機管理型水位計、河川監視カメラ
・水害対応タイムラインの活用
・マイ・タイムラインの作成支援(実施済)
・洪水ハザードマップの更新・配布(対応済)
・内水ハザードマップの更新
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の推進
・業務継続計画（BCP）の策定
・地区防災計画の策定支援

【平成12年】岡田橋付近浸水状況

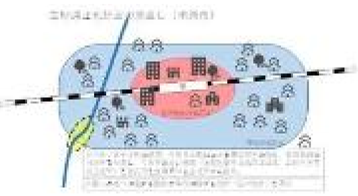
【平成25年】岡田橋付近浸水状況



【凡 例】
- 流域界
- 河川改修
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 浸水想定（計画規模1/50）

河道拡幅（岡田橋付近）

立地適正化計画の見直し



地区防災計画の策定支援
（ワークショップ開催）

二級水系
流域治水プロジェクト

椎津川水系 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ 東京湾南部圏域の中小河川の流域治水を推進 ～

千葉県

● 椎津川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　期】河川における対策として、椎津川の上流域（岡田橋～不入斗川合流点）で河道拡幅、河床掘削及び橋梁改築を推進するとともに、下流域（河口～横町橋）では樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。

【中　期】引き続き、椎津川上流域（岡田橋～不入斗川合流点）の早期完成に向けて、河道拡幅及び河床掘削を推進する。

【中長期】椎津川の下流域（河口～横町橋）で高潮堤整備及び河床掘削を推進し、椎津川全川の整備完了を目指す。また、深城川及び不入斗川では護岸整備を実施する。

● あわせて、水田を活用した一時貯留（田んぼダム）やため池等の治水利用を推進するとともに、マイ・タイムラインや地区防災計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、河床掘削、橋梁改築	千葉県	岡田橋～不入斗川合流点	岡田橋～不入斗川合流点	河口～JR内房線
	高潮堤整備	千葉県			河口～横町橋
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	河口～横町橋	定期的に実施予定	定期的に実施予定
	護岸整備	市原市			深城川、不入斗川
	水田を活用した一時貯留（田んぼダム）	集落活動組織等	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の見直し（居住誘導区域への災害リスクの考慮）	市原市	改定・運用	定期的に見直して運用	定期的に見直して運用
	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援	策定・見直し支援	策定・見直し支援
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県、市原市	運用状況の検証・定期的に更新予定	運用状況の検証・定期的に更新予定	運用状況の検証・定期的に更新予定
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、市原市	運用実績の検証	運用実績の検証	運用実績の検証
	マイ・タイムラインの作成支援（実施済）	市原市	継続して実施	継続して実施	継続して実施
	洪水ハザードマップの更新・配布（対応済）	市原市	更新・配布		
	内水ハザードマップの更新	市原市	随時見直しながら実施	随時見直しながら実施	随時見直しながら実施
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の推進	市原市	継続して実施	継続して実施	継続して実施
	業務継続計画（BCP）の策定	市原市	随時見直しながら実施	随時見直しながら実施	随時見直しながら実施
	地区防災計画の策定支援	市原市	継続して実施	継続して実施	継続して実施

【事業費（R3以降の残事業費）】
■河川対策
　全体事業費　5.8億円
　河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進